

公共事業

ムダを削って生活優先に！



都市型水害
東海豪雨災害

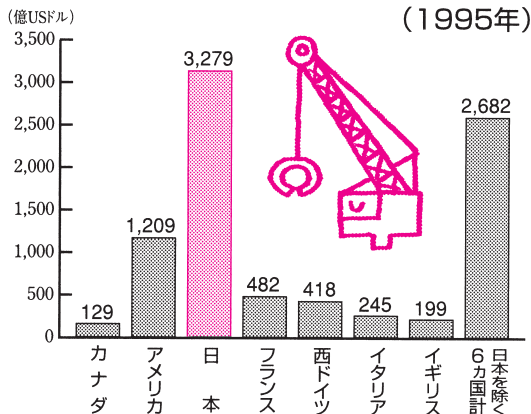
町全域にわたって浸水被害に見まわれた西枇杷島町

万博・中部国際空港より 被災者支援 抜本的な 防災対策を

9月11日から12日にかけて東海地方を襲った豪雨は、愛知県で七人の死者、六万五千世帯を超える浸水など被災地の家屋や事業所、農林に、被害額が七七九〇億円（建設省試算）に上る甚大な被害をもたらしました。決壊した新川をはじめ、濁流が流れ出した

庄内川や天白川の堤防の改修は大きく遅れており、「人災」なのは明白です。万博・中部国際空港などの大型公共事業に莫大な予算をつぎ込む一方で、住民のいのちとくらしにかかわる防災対策をおろそかにしてきた行政の責任が問われています。

異常な日本の公共事業（主要国比較）



くらし・福祉優先の公共事業で

景気回復を！

ゼネコン本位の大型工事へらし

ダム、高速道路などの大型公共工事は、機械作業が工事の中心。いくら予算をつぎ込んで公共工事を増やしても雇用は増えず、景気回復には役立ちません。生活に密着したくらしに役立つ公共事業に切りかえる必要があります。住宅、学校、公園などの維持補修工事を増やせば、中小業者にも仕事が増え、経営の安定と雇用の拡大にも役立ち、町がうるおいます。

いのち・くらしを切りすてる補助金カット反対！

2年連続で県民犠牲の補助金カットを強行した愛知県。万博や中部国際空港の予算は聖域のまま、福祉医療制度など住民のいのち・くらしに直結する補助金はバツサリ削減、高くて利用できない介護保険にも「知らん顔」なんて、絶対許せません。

不況打開、いのち・くらしを守る2000年秋の総行動

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町18-18 TEL.052-871-5433



労働相談

110番 052-881-1411

職場の困りごと、組合づくりの相談は

労働時間を短縮し、雇用の拡大を

解雇規制法
労働者保護法
を制定し、働くルールをつくらう

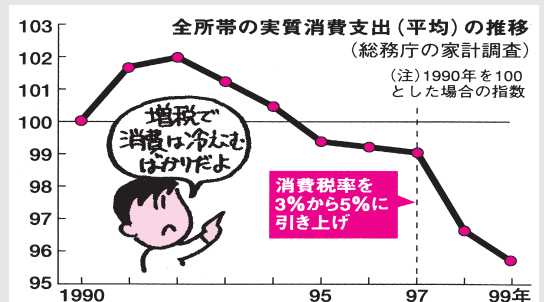
会社の都合で一方向的にリストラ・首切りをされたら、労働者とその家族はどうやって生活していくのか。日経連の奥田会長も「雇用の維持・安定には最大限の努力が払われなければならない」といっています。フランスは今年になって週35時間労働法を実施、時間短縮で雇用を拡大しています。



政府は、「消費税の福祉目的化」の名目で、「福祉の充実のために増税を認める」との選択を国民に迫ろうとしています。

そのねらいは、社会保険料の財源を消費税でまかない、国と大企業の負担を大幅に軽減することにあります。ムダな公共事業や、大銀行への税金投入をやめれば「社会保障」の財源確保は、十分可能です。

「福祉目的」なんていってるけど
ホッネは
国と大企業の負担べらし

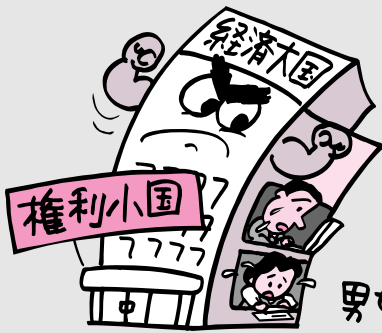


消費税 大增税 NO!

雇用確保、不況打開、増税反対、社会保障の充実を

なくせ!

過労自殺・過労死



不払いサービス
残業
男女格差
リストラ

不払いサービス残業は法律違反!

泣き寝入りしないでたたかおう

残業代を払わなくてすむなら、人を減らして残った人に残業をさせる。企業にとってこれほど得なことはありません。

「仕事は2人前、賃金1人分、寿命は半人分」なんてたまりません。「サービス残業はなくしてほしい」「健康でいい仕事がしたい」は、労働者・家族の切実な願いです。過労自殺・過労死をまねく長時間過密労働なんて、とんでもないことです。

改善させよう



安心して利用できる
介護保険に

高すぎる保険料・利用料に「とても払えない。サービス使えない」「施設もヘルパーさんも、大幅に不足」など介護保険は、始まったばかりなのに問題が山積み。特別養護老人ホームの建設やヘルパーさんの増員、保険料・利用料の減免・軽減など、安心して利用できる制度に改善させましょう。